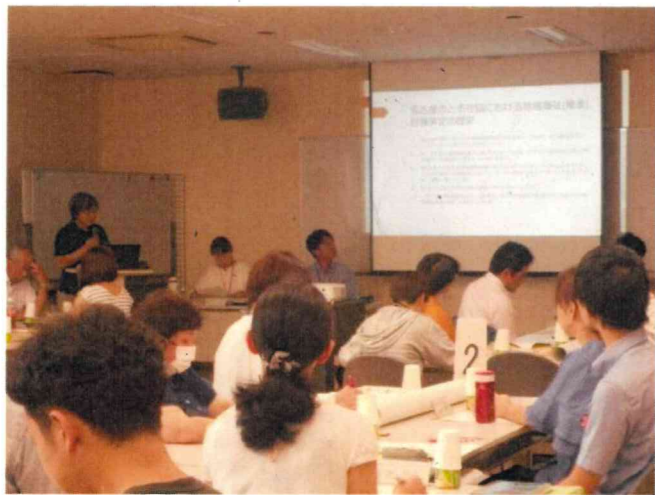


ミナミ NEWS

第4次港区地域福祉活動計画 第2回作業部会を開催しました



8月3日（金）、作業部会委員26名と社協職員11名で、第2回作業部会を開催しました。

今回は、はじめに「地域福祉活動計画策定に向けて」というテーマで、作業部会長である金城学院大学の柴田謙治教授に、今までの地域福祉活動計画の歴史や、策定するためのポイントをお話いただきました。

その後、「港区の地域課題・資源を学ぶ（子ども）」というテーマの基に、児童虐待の現状についてや子どもを含む世帯が抱える課題、子ども食堂の現状・課題について、区役所・スクールソーシャルワーカー・子育てNPOからの報告をいただいた後、子どもを含む世帯の課題と、それに対してどんなことができると良いかをグループワークで話し合いました。グループワークでは、地域とのつながりからSNSやゲームへの依存まで、子どもが関わる幅広い意見が活発にあげられました。

今後の作業部会でも、さまざまな地域課題や解決策を話し合い、来年度からの第4次地域福祉活動計画へとつなげていきます！



作業部会メンバーの思い

作業部会メンバーに第4次計画にかける思いを伺いました。



鵜塚えり子委員
(トワイライトスクールAP)

日ごろはトワイライトスクールに地域協力者として参加をしています。子どもひとりひとりに焦点をあてるとそれぞれ問題を抱えた子もいるけれど、トワイライトの場では子どもたちはみんないきいきとしていて、先生方ととてもいい関係性ができている。地域福祉活動計画を通して、地域の子どもたちがより過ごしやすいまちになればいいと思います。

スクールソーシャルワーカーとして、子どもやその家族の支援に関わっています。孤立した子どもの家族は複数の課題を抱えていることが多く、関係機関や地域との連携の必要を感じています。作業部会に関わらせていただき、地域のみなさんの活発なご意見やお知恵にとっても学ばせてもらっています。みなさんと一緒に、新しい取り組みが生まれるのではないかとワクワクしています。



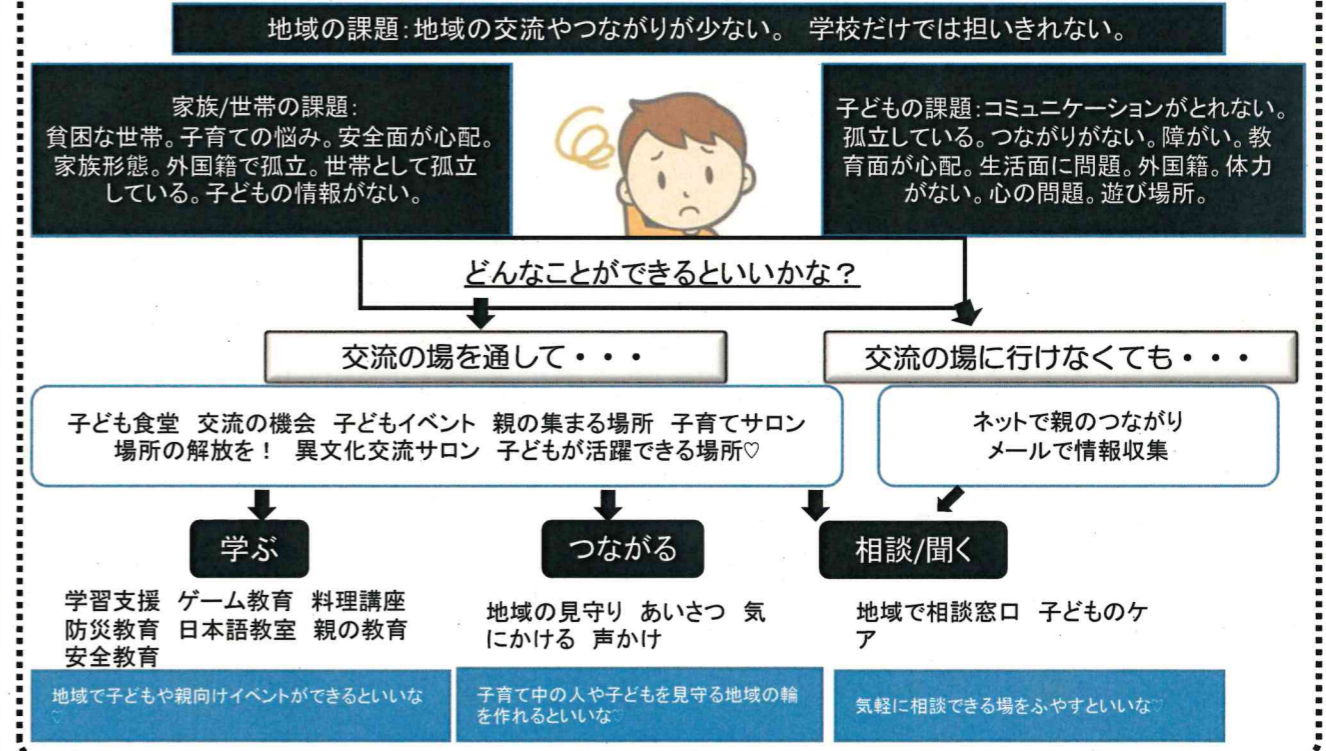
林佳代委員
(スクールソーシャルワーカー)



竹内由美委員
(名古屋おやこセクサ-副理事長)

子育て・子育て支援の活動に関わっています。子育て環境は整ってきても、子育てが楽になったとは言えません。たくさんの人垣の中で子どもを育てられるような社会にしていく必要があると思います。作業部会では、新たな出会いから何が始まるのかとワクワクしています。好奇心を失わず、「面白い!」と思ったことにはチャレンジしていきたいです。

第2回作業部会のまとめ



発行：社会福祉法人名古屋市港区社会福祉協議会
〒455-0014 名古屋市港区港楽二丁目6番32号
電話：052-651-0305 FAX：052-661-2940

